◇◆◇第一生命ホールディングス株式会社からのお知らせ◇◆◇～サラ川掲載中～

配信日：2022 年 1 月 31 日

□個人投資家向けオンライン会社説明会　アーカイブ映像
https://c-hotline.net/Viewer/Default/234340ac3122e0de88075179ec9b354e8cdd

当社グループの強みや今後の成長戦略、魅力を高めた新しい株主還元基本方針等について、社長の稲垣よりご説明しました。ぜひご覧ください。

日頃より当社グループに多大なるご愛顧をいただき、誠にありがとうございます。
また、先月配信の当社 IR メールアンケートにご回答をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。9 月 30 日の配信より新中期経営計画『Re-connect 2023』の 4 つの戦略の柱（国内事業戦略、海外事業戦略、財務・資本戦略、サステナビリティ・経営基盤の強化）について、シリーズ形式でその概要を紹介しています。今回は「財務・資本戦略」について、資本政策の基本的な考え方と新たな株主還元基本方針をご紹介させていただきます。

●資本政策の基本的な考え方
当社グループは、財務健全性を確保しつつ、持続的な企業価値向上と株主還元のさらなる充実を目指し、ERM※1 の枠組みに基づく資本政策運営を行っています。
中期経営計画「Re-connect 2023」では、ERM の一環である「資本循環経営」の実践を通じて持続的な成長を目指しています。「資本循環経営」とは、事業運営を通じて稼得した資本や、リスク削減によって解放された資本を財源として、財務健全性を確保しつつ、より高資本効率・高成長事業へと資本を再配賦することで、資本・キャッシュ創出の好循環を生み出し、企業価値向上を目指す考え方です。
具体的には、経済価値ベースの財務健全性指標である資本充足率（ESR）※2 のターゲット水準を 170～200％と定め、これを安定的に確保しながら、リスク・リターンの改善により資本コストを上回る資本効率の早期達成を目指しています。また、資本政策を ESR の水準に応じて運営し、ターゲット水準を超過している場合には、成長投資や機動的・柔軟な追加株主還元を積極的に検討する方針です。資本コストを安定的に上回る資本効率を実現するため、第一生命を中心に市場関連リスクを削減することによって資本コストの低減を図る一方で、リスク削減等で生み出された資本をより高い資本効率・将来的な成長が見込まれる事業への投資に振り向けることで、修正 ROE※3・ROEV※4 といった資本効率指標の改善に取り組んでいます。2021 年 9 月末時点での ESR は、前期末比 17%増加し、ターゲット

水準を上回る 221%となっています。

●魅力ある株主還元

当社グループは、中期経営計画のスタートと同時に、株主還元基本方針を刷新しました。まず、保険契約基盤から持続的に生み出される利益にふさわしい安定的な現金配当を基本とします。具体的には、毎期の配当性向を 30%以上（対グループ修正利益※5 過去 3 年平均）とし、1 株当たり配当金の減配は原則行わない方針です。2022 年 3 月期における 1 株当たり配当金予想は、グループ修正利益の進捗の状況・後述する自己株式取得による配当対象となる株式総数の減少が見込まれることなどにより、昨年から 18 円増配の、80 円としています。

加えて、新たな株主還元基本方針では、総還元性向※6 を従来の 40%目途（単年度）から 50%目安（中期平均）へ引き上げました。ESR やキャッシュフローの状況、成長投資機会の有無や当社株価水準などを総合的に勘案したうえで、自己株式取得などによる機動的・柔軟な追加株主還元を戦略的に検討・実施します。足元では、株式取得価額の総額の上限を 2,000 億円とする過去にない規模の自己株式取得について 2022 年 3 月 31 日までを取得期間として実施しています（2021 年 12 月 31 日までに取得した自己株式の累計総額は 1,428 億円）。なお、取得した自己株式は原則として消却を予定しています。

今後も、グループ利益の持続的な成長と資本・キャッシュ創出力の強化により、株主還元のさらなる充実を目指します。

財務・資本戦略に関する課題認識・取組みは、当社ホームページに掲載しているアニュアルレポート（P45～）や、個人投資家向けオンライン会社説明会でも紹介しておりますので、下記 URL からアクセスのうえ、ぜひご覧ください。

□第一生命ホールディングス アニュアルレポート（統合報告書）
https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/annual_report/index.html

□個人投資家向けオンライン会社説明会　アーカイブ映像
https://c-hotline.net/Viewer/Default/234340ac3122e0de88075179ec9b354e8cdd

※1　Enterprise Risk Management の略称。リスクの所在、種類および特性を踏まえ、資本、リスクおよび利益の状況に応じた経営計画、資本政策などを策定し、事業活動を推進すること。具体的には、リスクを適正にコントロールし健全性確保を図る一方で、より高い利益が見込める事業などに資本を配賦していくことで資本効率・企業価値向上を実現する取組み

※2　Economic Solvency Ratio の略称。資産・負債を足元の市場金利などで時価評価した指標で、一定のストレスに対する資本の余力を示す指標

※3　Return on Equity（自己資本利益率）の略称。グループ修正 ROE＝修正利益÷｛純資産－のれん・確定利付資産含み損益（税後）・市場価格調整（MVA）関連損益累計（税後）など｝

※4　Return on Embedded Value（EV 成長率）の略称。EV の増加額を生命保険会計の特殊性を考慮した利益とみなし、企業価値の成長性を測定する指標
※5　株主還元の原資となる当社独自の指標であり、グループ各社の修正利益を合計したもの。グループ各社の修正利益は、キャッシュベースの実質的な利益を示す。持株会社である当社は、グループ各社から受け取る配当金などに基づき株主還元を行う
※6　総還元性向＝（株主配当総額＋自己株式取得総額）／グループ修正利益

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
第 29 回『第一生命サラリーマン川柳コンクール』入賞作品
退職金
もらった瞬間
妻ドローン
雅号：元自衛官
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

☆その他の情報につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆さま」をご覧ください。
https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/index.html

※Copyright(c) 第一生命ホールディングス株式会社 無断転載、引用を禁じます。